



2019年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月4日

上場会社名 北恵株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9872 URL http://www.kitakei.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村良一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 高島敏治 (TEL) (06) 6251-1161
 四半期報告書提出予定日 2019年7月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第2四半期の連結業績(2018年11月21日～2019年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第2四半期	28,370	△0.2	454	11.6	516	12.2	330	15.1
2018年11月期第2四半期	28,433	3.7	407	13.9	459	13.0	286	17.2

(注) 包括利益 2019年11月期第2四半期 308百万円(△20.5%) 2018年11月期第2四半期 388百万円(16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第2四半期	35.57	—
2018年11月期第2四半期	30.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年11月期第2四半期	24,571	11,427	46.5	1,231.66
2018年11月期	25,854	11,332	43.8	1,221.38

(参考) 自己資本 2019年11月期第2四半期 11,427百万円 2018年11月期 11,332百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2019年11月期	—	0.00	—	—	—
2019年11月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年11月期の期末配当の内訳 普通配当 21円00銭 記念配当 2円00銭 (東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当)

3. 2019年11月期の連結業績予想(2018年11月21日～2019年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,720	3.0	820	7.5	910	6.3	550	1.0	59.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年11月期2Q	10,011,841株	2018年11月期	10,011,841株
② 期末自己株式数	2019年11月期2Q	733,388株	2018年11月期	733,388株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年11月期2Q	9,278,448株	2018年11月期2Q	9,278,588株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2019年7月19日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示変更)

「2019年11月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年11月21日から2019年5月20日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にて推移したものの、米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の減速や英国のEU離脱問題等の影響により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当住宅関連業界につきましては、住宅ローン金利が引き続き低水準で推移しているほか、継続して行われている政府などによる各種の住宅取得支援策の影響により、持家住宅及び分譲一戸建住宅は増加傾向が続き、新設住宅着工戸数は底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、地域の優良企業、住宅メーカー、ホームセンターなどの新規取引先の開拓や新築住宅及びリフォーム需要に対応したキッチン・ユニットバスなどの住宅設備機器の販売に加え、オリジナル商品の拡販に注力するとともに、非住宅などの新規市場の開拓に取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、283億70百万円(前年同四半期は284億33百万円)となりました。営業利益につきましては、4億54百万円(前年同四半期は4億7百万円)、経常利益は5億16百万円(前年同四半期は4億59百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億30百万円(前年同四半期は2億86百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて12億82百万円減少し、245億71百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金16億14百万円の減少に対し、現金及び預金4億70百万円の増加によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて13億78百万円減少し、131億43百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金15億82百万円の減少に対し、電子記録債務1億60百万円の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて95百万円増加し、114億27百万円となりました。これは主に、利益剰余金1億16百万円の増加に対し、その他有価証券評価差額金24百万円の減少によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて4億70百万円増加し、97億73百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、8億45百万円（前年同四半期は5億68百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少額15億63百万円及び、税金等調整前四半期純利益5億16百万円並びに、たな卸資産の減少額2億88百万円の増加要因に対し、仕入債務の減少額14億22百万円及び、法人税等の支払額1億25百万円の減少要因によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、1億62百万円（前年同四半期は1億27百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出1億22百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、2億11百万円（前年同四半期は1億84百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年12月28日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,302,691	9,773,671
受取手形及び売掛金	9,804,094	8,189,315
有価証券	—	100,000
商品	689,694	628,938
未成工事支出金	914,885	686,980
その他	1,208,936	1,271,642
貸倒引当金	△13,962	△12,080
流動資産合計	21,906,339	20,638,466
固定資産		
有形固定資産	1,608,115	1,605,768
無形固定資産	87,344	77,828
投資その他の資産		
その他	2,286,299	2,272,167
貸倒引当金	△33,703	△22,649
投資その他の資産合計	2,252,596	2,249,517
固定資産合計	3,948,057	3,933,114
資産合計	25,854,396	24,571,581
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,164,244	7,581,569
電子記録債務	3,025,230	3,185,494
未払法人税等	151,125	196,957
役員賞与引当金	16,000	—
その他	887,009	885,685
流動負債合計	13,243,610	11,849,706
固定負債		
役員退職慰労引当金	225,710	231,180
退職給付に係る負債	182,770	177,068
資産除去債務	16,534	16,583
その他	853,236	869,177
固定負債合計	1,278,251	1,294,009
負債合計	14,521,862	13,143,715

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,220,082	2,220,082
資本剰余金	2,851,408	2,851,427
利益剰余金	6,178,362	6,295,012
自己株式	△205,941	△205,967
株主資本合計	11,043,912	11,160,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,431	331,100
退職給付に係る調整累計額	△66,809	△63,789
その他の包括利益累計額合計	288,621	267,311
純資産合計	11,332,534	11,427,866
負債純資産合計	25,854,396	24,571,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月21日 至2018年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月21日 至2019年5月20日)
売上高	28,433,687	28,370,101
売上原価	25,737,872	25,555,679
売上総利益	2,695,815	2,814,422
販売費及び一般管理費	2,288,244	2,359,537
営業利益	407,570	454,884
営業外収益		
受取利息	851	1,378
受取配当金	8,859	11,092
仕入割引	64,457	64,758
受取賃貸料	14,350	14,323
その他	7,798	10,861
営業外収益合計	96,318	102,414
営業外費用		
売上割引	34,907	37,400
不動産賃貸原価	3,609	3,455
その他	5,390	391
営業外費用合計	43,907	41,247
経常利益	459,981	516,051
税金等調整前四半期純利益	459,981	516,051
法人税、住民税及び事業税	152,271	168,300
法人税等調整額	21,043	17,696
法人税等合計	173,314	185,997
四半期純利益	286,666	330,054
親会社株主に帰属する四半期純利益	286,666	330,054

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月21日 至 2018年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月21日 至 2019年5月20日)
四半期純利益	286,666	330,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96,218	△24,330
退職給付に係る調整額	5,583	3,020
その他の包括利益合計	101,801	△21,310
四半期包括利益	388,468	308,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	388,468	308,743
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月21日 至 2018年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月21日 至 2019年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	459,981	516,051
減価償却費	49,303	56,351
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,680	△1,356
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,750	5,470
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,413	△12,935
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,500	△16,000
受取利息及び受取配当金	△9,711	△12,470
売上債権の増減額(△は増加)	△386,494	1,563,453
たな卸資産の増減額(△は増加)	168,991	288,793
仕入債務の増減額(△は減少)	△763,363	△1,422,316
その他	134,390	△6,332
小計	△364,385	958,709
利息及び配当金の受取額	9,577	12,411
法人税等の支払額	△214,168	△125,802
営業活動によるキャッシュ・フロー	△568,976	845,318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,220	△18,814
無形固定資産の取得による支出	△6,454	△21,543
投資有価証券の取得による支出	△101,859	△122,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,534	△162,520
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の増減額(△は増加)	△167	△6
配当金の支払額	△184,234	△211,812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,401	△211,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△880,867	470,980
現金及び現金同等物の期首残高	8,906,043	9,302,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,025,176	9,773,671

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、木材店、建材店、工務店、住宅会社等に対する新建材、住宅設備機器等の建材販売事業(施工付販売含む)並びにこれらの付帯業務の単一事業であり、開示対象となるセグメントはありませんので、セグメント情報の記載は省略しております。

2019年11月期第2四半期 決算短信補足資料

2019年7月4日

 **北恵株式会社**

証券コード: 9872

1. 2019年11月期第2四半期連結決算概要

(金額単位:百万円)

	2018年11月期 第2四半期		2019年11月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	28,433	100.0%	28,370	100.0%	99.8%
営業利益	407	1.4%	454	1.6%	111.6%
経常利益	459	1.6%	516	1.8%	112.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	286	1.0%	330	1.2%	115.1%
1株当たり四半期純利益	30.90		35.57		

2. 2019年11月期第2四半期品目別販売実績

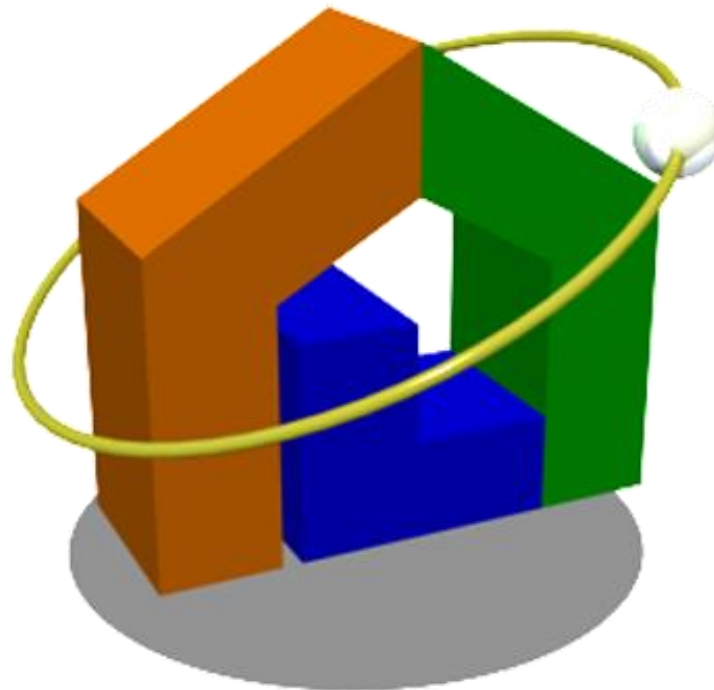
(金額単位:百万円)

		2018年11月期 第2四半期		2019年11月期 第2四半期		
		実績	構成比	実績	構成比	前期比
商品	木質建材	3,357	11.8%	3,498	12.3%	104.2%
	非木質建材	1,903	6.7%	1,911	6.7%	100.4%
	合板	1,140	4.0%	1,240	4.4%	108.7%
	木材製品	1,164	4.1%	1,225	4.3%	105.3%
	住宅設備機器	6,815	24.0%	6,626	23.4%	97.2%
	施工付販売	837	2.9%	943	3.3%	112.6%
	その他	2,163	7.6%	2,230	7.9%	103.1%
	小計	17,382	61.1%	17,676	62.3%	101.7%
工事	完成工事高	11,051	38.9%	10,693	37.7%	96.8%
	小計	11,051	38.9%	10,693	37.7%	96.8%
合計		28,433	100.0%	28,370	100.0%	99.8%
オリジナル商品		977	3.4%	1,048	3.7%	107.3%

※施工付販売 ……仕入メーカーの責任施工により行っている工事

※完成工事高 ……当社の手配による下請工事業者により行っている工事

※オリジナル商品の販売実績は、主に、木質建材、木材製品、住宅設備機器、その他に含まれております



・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があるため、業績見通しのみ全面的に依拠することは控えさせていただきますようお願い致します。

・本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。